

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-02-03-02
事務事業名	共同作業所助成事業	根拠法令・要綱等	障害者自立支援法
事業開始年度	昭和61年	問合せ先	保健課
大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	担当課(室)	保健課
中項目 基本施策	健やかで生き生きしたまちづくり	職・氏名	健康係長・白尾由美子
小項目 施策	精神保健	電話	64-1820

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	障害者(知的、身体、精神)、障害者の家族や日常生活に不安がある方
目的(何のために)	障害者とその家族に対して訪問、相談を行う。また地域の中で気軽に集うことができ、相談ができる場を提供する。在宅の障害者の社会参加や自立を促進していく。
行政活動(どのような方法で)	閉じこもり予防のための集う場の提供 保健師、栄養士、相談員等による相談・支援 障害者家族会に対して運営支援と経費の助成
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	障害者が住み慣れた地域で、自立した豊かな生活を送れる。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	地域交流サロン利用延べ人数	人	333	596	796
	一人当たり月平均参加日数	日	1.9	2.1	2.8
	家族会員数	人	51	40	40
	家族会(集いと研修会)	回	17	15	15
	事業費	千円	5,603	2,951	1,185
	事業費	千円	1,510	3,055	5,471
	事業費計		7,113	6,006	6,656
	財源	千円	2,651	1,325	
	一般財源		4,462	4,681	6,656
必要人員	人	0.20	0.55	0.81	
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	地域交流サロン利用延べ人数	説明			
	結果指標量	人	333	596	796
	対前年比	%	-	179.0%	133.6%
	活動コスト	円	7,113,000	6,006,000	6,656,000
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	家族会の集い・研修会の開催	説明			
	結果指標量	回	17	15	15
	対前年比	%	-	88.2%	100.0%
	活動コスト	円	7,113,000	6,006,000	300,000
到達目標値	円	418,412	400,400	20,000	

事業の成果			
成果指標名	地域交流サロン利用者延べ人数	式又は説明	閉じこもり予防の観点から利用延べ人数の増加を目標に設定する
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	333.00	596.00	796.00
対前年比		178.98%	133.56%
到達目標値	950.00	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えているが、目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である(法律・政令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A-E> 課題認識 B
	行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	家庭に引きこもりがちな障害者等とその家族に対して訪問を行い、週2日の交流の場の提供、日常生活支援・就労支援等各種相談を行い障害者が住み慣れた地域で自立した生活を営めるよう支援することを目標としている。様々なストレスにより、精神疾患が増加しており、地域で生活する住民にとって必要な事業である。
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である <input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	
	市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	効率性評価<A-E> 課題認識 B	
効率性の評価	手段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	地域交流サロン利用者の昨年度の入院事例はみられていない。障害者が精神科に入院すると年間約480万円の医療費がかかる。又退院後通院治療にて在宅で過ごすことができれば、年間約2.4万円の医療費となる。精神障害者の地域移行支援がすすめられており、退院後の受け皿や地域の人が安心できるサポート体制の整備が大切であると言われており、患者支援と地域交流サロン運営は今後も地域で生活する障害者にとって重要な役割を果たすと共にコスト面でも効率が良いと評価できる。
	職場	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A-E> 課題認識 B
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	療養中の者に対して定期訪問を行い、状態確認や相談を継続しながら利用可能なサービスの検討・調整をしていくことで在宅生活の継続に繋がっている。また精神保健の普及・啓発に、家族会支援は有効である。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成20年度の状況		説明	平成20年4月より、新たに伊部に地域交流サロンの開設し専任相談員を配置し相談ができる場を提供した。家族会支援は前年度と同様に実施している。	
重点化している	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	950	結果指標量	15
	成果指標量	950.00		

総合評価		評価区分<A-E>	B
平成19年度までは日生に地域交流サロンを開設していたが、平成20年4月から伊部に交流サロンを開設したため備前、吉永地区の住民にとって利用しやすい環境になった。精神障害者地域移行支援が推進されるなか、家庭訪問・家族会支援・地域交流サロン運営等が地域生活支援体制の重要な役割を担うことになると考えられる。			

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	サロン利用者の拡大	随時	閉じこもりの予防